

凸版印刷、攻めのIT経営銘柄に選定

デジタルトランスフォーメーションなど革新的な取り組みが評価され「攻めのIT経営銘柄2018」に初選定、最新デジタル技術を活用し、新事業のさらなる創出を目指す

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「攻めのIT経営銘柄2018」に選定されました。

「攻めのIT経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から新たな価値の創造、経営革新、収益水準・生産性の向上をもたらす積極的なIT利活用に取り組んでいる企業を選定し公表しているものです。

凸版印刷は、デジタル技術を活用した電子チラシ事業やデジタルマーケティング事業などで、既存ビジネスの拡充と生産性向上の枠を超えて、ビジネス革新に近づく取り組みを行い、収益貢献も具体的な目標を敷いており、将来性も高いと評価されました。

**攻めのIT経営銘柄2018****Competitive IT Strategy Company****■攻めのIT経営に向けた主な取り組み****1) 電子チラシ事業「Shufoo!」のDMPの活用による拡大**

凸版印刷は、インターネット上で広告・チラシを閲覧できる日本最大級のデジタルチラシポータルサイト「Shufoo!」を展開。2017年からは、オリジナルDMP(データマネジメントプラットフォーム)を構築し、ユーザーデータと膨大なチラシ閲覧データを一元管理することで、Shufoo!ユーザーの獲得効率やロイヤリティ向上で成果をあげるとともに、大手SNSなどの外部メディアでShufoo!ユーザーをターゲットングできる新たな広告サービスを提供しています。

2) 得意先企業のデジタルマーケティング推進を支援

凸版印刷は2017年7月に、MA(マーケティングオートメーション)の運用ノウハウを活かし、「デジタルマーケティング一括運用ソリューション」を本格稼働させ、高セキュリティ環境下でのMA運用を行う「MAコマンドセンター」を開設。凸版印刷はデータ解析からシナリオ開発、配信管理までをシームレスに実行できるエキスパートチームを組織化し、複雑で高度なデジタルマーケティングの運用を一括で支援し、得意先企業の課題解決を支援します。

今後も、凸版印刷は「印刷テクノロジーで世界をかえる」をキーワードに、最新デジタル技術の積極的な活用を通じて、社会的課題の解決をはかり、新事業の創出に取り組めます。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上